

弥富高校生も大勢で合流

秋空に、高校生の思い響く



11月3日、午前中に最後のドーム練習会と「高校生議会」が南山男子で行われ、午後は白川公園に場所を移してドーム前夜祭・2000人パレードが実施された。

午後からの白川公園ステージでは、合唱・和太鼓・群舞と次々に披露されて、特に合唱では弥富高校の向山先生の指揮のもと、「手紙」と「翼をください」を披露。熱気とドーム成功への決意が参加者を包み身体が震えあがるような寒さを感じさせない熱い合唱が、白川公園に響き渡った。

本校からも生徒・父母・教員約100名が参加した。パレードは、栄の街並みに「私学も無償化を！」の叫びを響きわたらせた。

「私立高無償に」 2千人デモ行進 名古屋 15日に集会も

公立高校が来年度から実質無償化される見通しとなった中、私立高校の無償化も求めて、名古屋市内で3日、高校生や保護者ら約2千人がデモ行進をした。15日には教職員や市民も参加した大集会をナゴヤドームで開く。

デモに先立ち開かれた高校生議会では安城学園3年の安藤祥子さん(17)が、学費が払えず退学する生徒がいることを紹介。



私立も無償化して、行きたい学校を自由に選択できる社会にして欲しい

高校生議会

「私学も無償化にして自由に学校を選択できる社会にしたい。まずは目の前のドーム祭典を成功させ、各校で署名・募金などに取り組むとともに、仲間とのつながりのなかから夢や希望を持てる学校一それは、私たちにあって、大切な場所。それぞれが、自分の夢や希望に向かって頑張る場所。仲間とつながり、輝ける場所。でも、それぞれが孤独や不安を感じ、生きていく。」

予想をはるかに超える400名が参加し、ドーム祭典への意思統一とともに、「私学も無償化に！」を強く訴えていこうと確認し合う「高校生議会」となった。冒頭、ハイスクールレポリュージュン担当者が、「『学校』は、本来、私たちが夢や希望を見出し、仲間とのつながりを広げていく場所。公立高校『だけが無償になると、ますます『やりたいこと』でなく『お金』の問題で学校を選択する動きが強まる』として、私学も無償にして自由に学校を選択できる社会にしたい。まずは

高校生宣言2009

9月、政権が交代し、来年度からの「公立高校実質無償化」の方針が打ち出されました。私立高校生にも所得に応じて年間12万円または24万円が支給されることになりました。国が、教育にお金をかけようとしてくれるのは、喜ぶべきことです。しかし、なぜ公立高校だけが無償なのでしょう。か。

学校づくりを進めよう」と力強く提起。これを受け、発言を求める手が続々と挙がり、会場は異様なほどの熱気と高揚感に。弥富生も、「9日にはドーム全校集会をやる。弥富は助成金をもらっている家庭も多い。生徒全員で(ドーム祭典に)参加してこの思いを訴えたい……」と発言。他校からも意義を受け止めた元気な発言が相次いだ。最後に「私立高校も無償化し、私立や公立にとらわれず、行きたい学校を自由に選択できる社会に」と訴える『高校生宣言2009』が、万雷の拍手で承認された。

参加した看護科生徒の感想

私は2度目の高校生活を送っています。18年前の高校生活のときより、私立高校だったので、お金の頑張りがいさいます。

ことや仕組みなど気にもしたことがありませんでした。私立に通うことになり、私立高校の現状を初めて知りました。大人として恥ずかしく思います。日本は豊かですが、心は貧しくなりました。格差はあってもならないと思うのですが。本当なら、私たち大人が、未来を背負う子ども達のために協力してなくてはいけなのに、この現状を知らない大人も多いと思います。大人として、できる協力はして、よりよい未来を見つめられるよう努力していきたいと思えます。今の高校生は大人ですね。もっとチャラチャラして、何も考えていないのかと思っていました。私が現役の高校生の時のほうが何も考えていなくて、学校のいいなりだったんだな、と思いました。

「あなたが行きたい学校を選びなさい」と言ってくれた親が、実はパートの仕事を増やしていた。少しでも親の負担を減らそうと、学費を払うために毎日アルバイトをして頑張っている。「お金がないから私学には行かせられない」と言う親に頭を下げて「どうしても行かせてほしい」と頼む。そんなエピソードが、私たちの周りから多く聞かれます。(…中略…)

多様なつながりを広げ、未来に希望を持ち、笑顔あふれる社会をつくりたい。今、愛知県には、不況に負けにくい、元気に輝いている高校生がたくさんいます。私たちが、仲間とのつながりを深め、11月15日、ナゴヤドーム祭典で、この思いを社会へ発信します。

また、私学助成の拡充を求める請願署名に、多くの仲間とともに取り組めます。「教育の公平」をめざして、それぞれの学校で元気に頑張っています。そして、自分たちの学校が、もっと輝ける場所になるように、仲間とのつながりを大切にします。未来をつくるのは、私たち高校生です。

本校生徒も父母・教員と共に無償化を高らかに訴える

15日に開かれる「県民文化大祭典2009 in ナゴヤドーム」は、群舞や模擬店の出店などがある。11月4日 朝日新聞

今、夢や希望を感じられない社会になっています。人と人とのつながりが切れかかっています。

2009年11月3日 愛知県高校生フェスティバル実行委員会 ハイスクールレポリュージュン